2022 年度事業活動計画書 (委員は 2022 年度定時社員総会以降に選出する)

常任委員会名	高等教育行政対策委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	大学における看護学教育の課題解決と質向上を推進するために 1. 関係省庁、諸団体との連携を図り、政策的な働きかけを行う。 ・文部科学省、厚生労働省等への要望書の作成 ・看護関連の検討会への意見発出 ・社会情勢の動きを把握し、必要時日本看護協会等関連団体と協働 ・適宜、声明や提言案を作成 ・看護系議員との連携 2. 会員校の教員に対し、Academic Administration の質向上を図る。 ・大学教育・看護学教育に関する情報提供 ・大学の経営、運営管理、組織、戦略の立て方等についての情報提供		

常任委員会名	看護学教育質向上委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	・新たな感染症時代の実習の在り方について検討する ①臨地実習実施のための臨地実習先と看護系大学との共通指針の作成 ②実習前 CBT の試行効果評価のための準備と実装 ③実習前 OSCE の実施可能性を探る		

常任委員会名	看護学教育評価検討委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	・文部科学省看護学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に先立ち、現コアカリキュラムを評価し、必要な修正案を検討して、提案できるよう準備する。 ※2020-2021 年度は活動を休止していた。		

常任委員会名	高度実践看護師教育課程認定委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	高度実践看護師教育課程の認定を推進し、高度実践看護師の増加と質の向上に寄与する。 1) 高度実践看護師教育課程の新規認定の実施：会員校からの申請に基づき、専門分科会（専門看護師 14 分科会、ナースプラクティショナー1 分科会）を組織し、教育課程の認定を行う。 2) 高度実践看護師教育課程の更新認定（10 年目）の実施：認定後 10 年を経過した会員校からの申請に基づき、更新認定審査会を組織し、教育課程の更新認定を行う。 3) 高度実践看護師教育課程認定に関する情報発信および相談業務の充実：専門看護師 38 単位申請、ナースプラクティショナー46 単位申請について、会員校からの質問や問い合わせに応じ、申請の支援を行う。 4) 2023 年度版審査要項の作成：2023 年度版を作成し、会員校へ審査要項を配布する。また審査要項（申請の様式を含む）は、本協議会ホームページにも掲載する。 5) 審査規準等の検討：必要に応じ、教育課程に関する審査規準等の検討を行う。 6) 高度実践看護師教育課程の分野特定：新たな分野特定が申請された場合には、基準に基づき審議を行う。 7) 高度実践看護師教育課程の質の向上について検討する。 8) 認定委員会、専門分科会の効率的な運営等について検討する。		

常任委員会名	広報・出版委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	1. COVID-19 禍における JANPU の公式発表やそれに関連した取材にタイムリーに対応する。 2. 会員校と高校生とその保護者が看護情報に触れるための定期投稿を開始したソーシャルメディア (Facebook と Twitter) の運用継続、投稿内容の充実 3. 高度実践看護師の積極的な広報 (「看護 roo!」) との共同で、活躍する専門看護師への取材および記事の公開 4. 全国の普通科高校へ向けた広報 (「大学で看護を学ぼう!」リーフレットおよびホームページ内各コンテンツの案内を文書にまとめ、郵送にて送付) 5. 上記の新しい取り組みの変化を把握するためのモニタリングを実施する。		

常任委員会名	国際交流推進委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	1. 主旨 1) 看護高等教育における国際活動・国際交流を積極的に推進する。 2) East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) の Executive Committee に参加し、連携を促進する。 3) 看護系大学における国際的な教育・研究活動を推進・支援する。 2. 活動計画 1) 看護系大学の教育・研究における国際連携・協働の推進・活性化を目的とした研修会を開催する (1 回/年)。 2) 第 26 回 EAFONS 開催 (日本: 2023 年 3 月 10 日-11 日) に向けて、開催大学である東京大学と協働するとともに、JANPU 理事会および Executive Committee Members との連絡調整を行い、JANPU 会員校への周知、参加支援を行う。 3) EAFONS において Executive Committee Members として活動に参画するとともに、EC Convenor (ー2023) に着任した池田真理氏を支援し必要時作業を分担する。		

常任委員会名	データベース委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	1. 主旨: 本委員会は日本看護系大学協議会の会員校における学習環境、教育内容、社会的役割などの現状を毎年数量的に把握し、社会および会員校における看護学教育のあり方の検討、教育政策、看護政策などへの提言のための基礎資料を作成し、より一層の看護学教育の向上を目指す。 2. 活動計画: 日本私立看護系大学協会 (以下、私立) との協働実施事業として、両組織の加入校 (短期大学を除く) を対象に、「2021 年度 (2022 年度実施) 看護系大学に関する調査」を企画・実施する。実施に向けて、看護学教育のあり方の検討、政策提言等に活用可能な情報が得られるよう、回答の吟味、および項目数のスリム化を進める。将来的な目標として、委員会および会員校が再分析可能なデータベースの構築、活用方法について検討する。		

常任委員会名	災害支援対策委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	<p>防災および災害支援にかかる事業として、看護系大学の在り方や広報、防災教育などの重要事項を協議し、本事業の円滑、適正な運営を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 被災後の教育継続に関する連携体制の維持・精錬（災害発生時の被災した会員校への対応）：連携体制の具体的活動マニュアルの整備、連携・活動の維持についての各組織コミットメントが具体的に意識されるよう広報や検討会の実施が必要となる。 看護系大学の持続可能な地域貢献としての災害支援活動の推進（看護系大学の災害支援活動の方向性）：それぞれの看護系大学が地元とする地域やコミュニティが被災した際に取るべき役割について現実的に検討を加える。既に地域連携を重ねている大学の例の共有などの可視化を図る。 災害フォーラムの開催：1と2についての公表の場の確保を行う。 各参加校の支援や困難についてのホームページの活用：実践知を共有するためのホームページの充実を図る。 防災マニュアルの改訂に関連する検討（マニュアルの様式や小冊子想定を作成） 		

臨時委員会名	APN グランドデザイン委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	<p>本委員会は、日本におけるグローバル水準の高度実践看護師制度の構築を目指して、高度実践看護師の役割や裁量の拡大を実現するための制度改正、資格や教育課程の認定のあり方、養成を促進するための方略等について、関係する団体や機関と連携・協働しながら、幅広い観点から具体的な戦略を提示し、制度構築の実現に向けて活動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「2035 年度ビジョン達成に向けた APN グランドデザイン」の実現化 NP 教育課程に関する実態調査結果の分析と課題の明確化 関係機関・団体との連携・協働を進め、APN 制度構築の道筋をつけるための活動 		

臨時委員会名	JANPU ナースプラクティショナー (JANPU-NP) 資格認定委員会	分掌者	
活動の主旨と活動計画	<p>本委員会は、日本看護系大学協議会ナースプラクティショナー (JANPU-NP) 資格認定規程および細則に基づき、JANPU-NP の資格認定に係る活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第 4 回 JANPU-NP 認定審査の実施 第 5 回 JANPU-NP 認定審査の準備と受験者募集 		

臨時委員会名	文部科学省委託事業 学士課程における看護学教育の質保証に関する調査研究 — 保健師の質向上のための調査研究 —	分掌者	
活動の主旨と活動計画	<p>感染症等の健康危機に対応できる保健人材養成をめざし、次の 1～5 を 3 か年で実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 現場（保健所・保健センター、病院、訪問看護ステーション、大学等）における健康危機対応のニーズと課題を調査する。 調査結果に基づき、感染症対応を含む健康危機管理に必要なコンピテンシーならびに人材像を明確化する。 感染症等の健康危機管理に強い保健人材育成に必要なモデル教育プログラムの考案、コア科目に関する e-learning 教材の開発をすすめ、ワークショップ等により広く普及する。 モデル教育プログラムに基づき、複数の地域において、大学と現場がシームレスで一体となった教育モデルの実践・検証を実施する。 公開シンポジウムやワークショップを開催し、一連の調査研究の成果について現場にフィードバックし、啓発する。 		